



# ふるさと納税の 寄附実績と活用事業

当別町では、特産品のPRと町の知名度を上げるため、平成20年度からふるさと納税制度を活用して、町出身の方々や町を応援したいという全国の方々から心のこもったご寄附をいただいております。平成27年からは所得税・住民税控除上限額の拡大や税控除に必要な確定申告が不要になるワンストップ特例申請制度など寄附者のメリットが増えたことと、寄附者への返礼記念品の種類を増加させたことにより寄附金額が大幅に増えました。

その額は  
何と！！

平成27年度寄附金実績  
約31,000件 約5億2千万円

いただいた寄附金は、当別町の個性豊かなまちづくりを推進するため、各種事業に活用していますので、その事業の一部を皆様にご紹介します。

## 当別町「道の駅」建設推進事業

当別町では、町の食と観光を発信するランドマーク施設として「道の駅」の建設を進めており、平成29年9月の開業に向けた準備を進めています。「道の駅」を「当別の将来を変える起爆剤」として位置づけ、多くの人を町に呼び込み、農村と都市の交流人口の拡大、農産物の直売を通じた農業の振興、町内での購買促進など、町の経済活性化を目指します。



## 木質バイオマスを活用した地域循環可能性調査事業

町の面積の約6割を占める豊富な森林を活用し、新たな産業や雇用の創出、エネルギーの地域循環を実現するため、木質バイオマス燃料製造に関する事業可能性調査を実施しました。課題はありますが事業化は可能との調査結果となったことから、今後更に検討を進めていきます。



## 子どもプレイハウスの充実(放課後児童健全育成事業)

子ども達の健全な育成と保護者の就労・子育ての両立を支援するため、町内2カ所で実施している子どもプレイハウスの充実を図りました。

また、新たに子ども達への学習支援活動を実施するなど、子ども達の健やかな成長を支援しています。



ふるさと納税  
の寄附金でこんなに  
色々なことができ  
ているんだね！



## 小・中学校英会話指導助手の配置

小学校、中学校の授業に英会話指導助手を配置し、外国人とのコミュニケーション機会を提供することで、英語に対する興味を高めるとともに、英会話能力の向上を図りました。9年間を通じた継続的な国際理解教育を推進しています。

### 高齢者が生きる地域仕事支援事業

高齢者が、「学ぶ幸せ」を感じ、地域活動の担い手として活動するきっかけをつくることを目的に伝承事業分野と交流事業分野で計41回の事業を実施し、60歳以上の町民延べ689人が参加しました。調理実習やスポーツ活動を通して子ども達との交流や、地域の専門家から造園や陶芸技術の学習、当別町無形文化財「当別音頭」の小学生等への伝承活動を行いました。



### 防災マップ等作成・更新

災害から身を守るための備えや災害時に役立つ情報・知識と、当別町内の危険箇所地図を冊子にまとめた「防災マップ」を8,500部作成しました。住民の防災への意識高揚と、日頃からの備え・準備につながり、災害時の被害を防止したり最小限にとどめることが期待できます。



### 当別町農業 10年ビジョン確立推進事業

当別町農業10年ビジョンが目指す「儲かる農業」の実現に向けて、家族経営協定や法人化による経営改善をテーマとした勉強会と、安定した農業の経営体制について、農業者や農業関係機関と検討してきました。今後も、当別町農業の発展のために、様々な取り組みを進めていきます。



### 軽トラ・マーケット事業

農家が普段使用している軽トラックで、新鮮野菜や花きを販売する「とうべつ軽トラ・マーケット」の開催や各種イベントに出店しました。農業のまち当別町として、今後も販売促進と併せ、農産物の認知度の向上を目指した取り組みを進めていきます。



ふるさと納税制度で町の財源が増え、町の発展のために積極的な事業展開を進めることが可能になり、また、特産品を全国に届けることで、町のPRになるとともに町内に大きな経済効果が生まれています。

この制度は町外在住の方が対象になりますので、町民の皆様には町外にお住まいのご親戚やご友人等に、当別町ふるさと納税をぜひご紹介ください。

【ふるさと納税に関する問合せ】 企画部企画課企画振興係 ☎ 23 - 3042